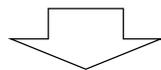


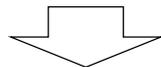
安全点検の実施方法について

○基本的な考え方

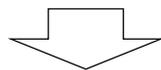
- ①サイクルルートの状況は走行空間の形態、沿道の利用状況、車両及び歩行者の数等によって異なるため、これらの項目を踏まえて事前に区間をカテゴライズし、特に重点的に点検する項目(チェックリスト)を今回の安全点検で確認・意見交換する。



- ②サイクルルートの点検は、実際に自転車で走行しながらチェックリスト項目を確認することによって実施する。



- ③結果については、区間ごとにチェックリストに記録する
※記録方法は、次頁「点検端末の操作手順」参照



- ④記録されたチェックリストを付き合わせ、区間毎の状況を取りまとめるとともに、全線を通しての観点からも検討を行う



安全点検にあたってのサイクルルートのカテゴリ分け(案)

○安全点検を実施する区間について、特徴的な道路構造と沿道状況により4区間に分類した。

種別		A 興津川 ～ 潮吹園	B 潮吹園 ～ 西倉沢交差点	C 西倉沢交差点 ～ 富士川橋	D 富士川橋 ～ 道の駅「富士」
区間の特徴		海沿い	NCR未整備区間あり	車道混在、 沿道家屋あり	NCR未整備区間あり
路線名		国道1号	国道1号	旧東海道 (市道、県道370号)	国道1号
道路構造	自転車走行空間	車道と分離 (自歩道)	車道と分離 (自歩道)	車道混在 (矢羽根)	車道と分離 (自歩道)
	NCR未整備区間	なし	NCR未整備区間あり (自歩道幅員の欠損)	なし	NCR未整備区間あり (階段部)
沿道状況	沿道家屋	なし	なし	沿道家屋あり	なし
	海沿い	海沿い	—	—	—



安全点検にあたってのサイクルルートのカテゴリライズ(案)



至名古屋

至東京

出典：太平洋岸自転車道HPのルート図を加工

安全点検におけるチェック項目(案)

空欄：確認する項目　○：特に確認する項目　－：確認不要の項目

種別	チェック項目	ルートのカテゴリー			
		A 興津川 ～ 潮吹園	B 潮吹園 ～ 西倉沢交差点	C 西倉沢交差点 ～ 富士川橋	D 富士川橋 ～ 道の駅「富士」
舗装・路面	①	・未舗装となっていないか			
	②	・路面のひび割れ、わだち掘れ、ポットホール、隆起、溝、段差はないか			
	③	・パンクの原因となるガラス破片・釘等の散乱はないか			
	④	・植栽の通行空間へのはみ出しはないか			
	⑤	・街路樹からの落葉等の堆積はないか			
	⑥	・海沿いで水しぶきのかかる箇所はないか	○ (海沿い)	－	－
	⑦	・海沿いで砂が堆積している箇所はないか	○ (海沿い)	－	－
排水施設	⑧	・排水施設による通行の妨げになる段差や溝はないか		○ (歩道端側溝あり)	○ (車道端側溝あり)
防護柵	⑨	・路外への転落を防ぐための防護柵があるか (車両用防護柵のみの箇所など)	－	○ (中小橋あり)	○ (中小橋あり)
附属物	⑩	・走行の妨げになる道路附属物はあるか(柵、標識、車止め等)		○ (未整備区間)	○ (車道混在)
注意喚起	⑪	・ドライバーに対する、自転車通行に配慮する旨の注意喚起の有無(情報板等)	－	－	○ (車道混在)
	⑫	・自転車に対する、注意喚起の看板等の案内表示の有無(トンネル、橋梁部、急勾配箇所等)	○ (興津川橋)		○ (急勾配：旧東海道×県396、ボックス)
案内誘導	⑬	・自転車ピクトによる経路や距離に関する路面標示の有無(一定の区間、分岐部)			
	⑭	・拠点(サイクルステーション)、(サイクリストに優しい施設)への案内が一定の間隔にあるか	－	－	○ (由比本陣公園)
	⑮	・多言語(日英2か国以上)やピクトグラムでの案内があるか			○ (道の駅富士)
その他	⑯	・上記以外に気付いた点(自由回答)			